

三心を磨く

学校だより No. 2

令和8年5月22日(金)発行

須坂市立東中学校

文責：(教頭)

<https://azuma.suzaka.ed.jp/>

* 過日は、参観日・PTA 総会・学級学年 PTA へのご参加ありがとうございました。年度はじめに当たり、本年度本校が大切にしていきたいことについて、学校長より話がありました。

今年度の学校運営にかかわって

令和8年度一回目の授業参観日でした。お子さんの学校で学ぶ姿や学んでいるときの顔つきや目つきはいかがでしたでしょうか。生徒は、静かな落ち着いた環境の中で、真剣に学んでいます。本校は、清らかな空気と美しい自然環境に囲まれた、素敵な学校であると日々様々な事柄から感じております。

お伝えする内容

- ①めざす子供の姿
- ②進路選択
- ③学習
- ④教育活動の特色
- ⑤部活動と地域展開
- ⑥生徒指導・健全育成・子供の安全
- ⑦創立70周年

本日は、お忙しい中、学校へお越しくささり、ありがとうございました。また、日頃より本校の教育活動に御理解とご協力を賜りますことに心より感謝申し上げます。短い時間の中ですが、本校の学校運営についてご説明させていただきます。お伝えする内容は、次の7つでございます。

<①めざす子供の姿>

まず、令和8年度の重点ですが、学校目標「三心自立」を身につけた子供たちを育成するべく、すべての教育活動において、「学ぶ心、思いやる心、鍛える心」を育てながら、子供たちの自立のサポートをしていきます。中学生期という時期は、頼りにしていた親や周囲の大人を、これまでは素直に受け入れていた様子から一転して、自分の意思や考えと照らし合わせながら考えたくなる、自分に自信なんてないけれど、根拠も理由もはっきり言葉にできないけれど、「嫌だ」「これがしたい」と自分の主張が出てくる時です。自分がしようと思っていたことを、先に大人に言われてしまうと、「もうやる気なくなった」と機嫌を損ねて、やろうとしなくなる。本当はやりたいことなのに、拒絶の態度になってしまうことも。途中で大人の一言がなければ、そのことは「自分の意思」でやったことになるけれど、「こうしたら」「ああした方がいいよ」などと他からの言葉が入ると、それに自分が従ったことになってしまう、それは受け入れられない、そういう時期なのではないでしょうか。自立に向け大事にしたいことの一つめは「自分で決める」という経験をたくさんすることです。そして「決めたことの責任をもたせる」ことです。上手くいくときも失敗することもあるでしょうが、その結果をしっかりと本人が受け入れるためにも、「自分で決めること」で、人のせいにならない、自分の失敗を受け入れる強さが育つと思います。二つめは、「自分で解決する」経験です。子供たちは、お父さんやお母さんを信頼していますので、外じゃ言えない愚痴、不平、不満をぶつけると思います。とっても良いことだと思います。愚痴や、不平、不満は子供にとっては困ったことであるとも捉えられます。困難にぶち当たった子供に大人はどのように関われば良いでしょうか。ケースは多岐に渡りますので、一概に「こうした方がよい」

ということとは言えませんが、例として、新しい視点をもたせて考えさせてみる、とか、「今、これこれこうだから腹を立てているんだね」と子供の言葉を復唱しながら、整理してみるというのは、子供自身が自分で解決していくときのサポートになるのではないかと思います。小学生のときとは違うので、大人が率先してその子の問題を取り除いていくのではなく、その子がどうやってその難問を乗り越えていくのかを見とどけて、あとで、「頑張ったね」「この時こうしたことがすごいよ」とその子が自分で踏み出した一步を意味付けてあげる、そんな関わり方にシフトしていく時期ではないかと思います。この時期は、大人に先取りされたり、舵取りされたりすることを嫌い、自分だって色々できるんだよと、巣立ちたい気持ちがわき上がってくる時期です。反面、「巣から飛び出しても大丈夫かな、お父さん、お母さん見ていてね」と自信がもてない、不安ばかりが募る時期でもあるのです。私たち大人がすることは、「見守る」「見とどける」「見放さない」といった「見る」ということの中に、子供が挑戦した結果を受けとめ、失敗した原因や上手くいったきっかけと一緒に見つけて、今回挑戦したことの価値や意味は何か、将来社会に出たときにどのような場面で役に立つのかなどを伝えてあげることではないかと思います。大人として、保護者の皆様の場合は親として、大切だと思っている、これだけは伝えたいと思っていること、価値観がいくつもある中で、今、子供のしたことの中につながるものはないか、その接点で話をするのが、今の時期は特に必要だと思っています。子供がなぜ上手くいかなかったのか知りたい、考えたいと思っているときにチャンスです。その悔しさを抱えているときに側にいて一緒に考えられるためにも、「行く末を案じながら」見守るということが重要になってくるのです。

<②進路選択>

3年生は今年、2年生は来年、1年生は再来年には、自分はどう生きていくのが良いのか、自分で決めなければなりません。「進路選択」という言葉を使いますが、「進路」というのは「進学」とは違います。どの学校へ進むのか、という選択ではなく、どう生きるのかということの選択です。

「適正」という言葉がありますが、自分は何が得意で、あるいは自分が何をしているときに楽しくて、充実感や達成感をもてて、逆に自分はこれが苦手、合わない、もしくは、苦手なだけで本当はできるようになりたい、など、自分のことを知ることが、自分がどう生きるのかを決めだしていくときの土台となります。お家でも、お父さんやお母さんの仕事の話、つまり『働く』ということの子供たちにどんどん聞かせてほしいと思います。どうしてその仕事を選んだのか、毎日どんな気持ちで仕事に取り組んでいるのか、大変なことや職場の愚痴もたまには話しながら、お父さんはこうやって乗り越えているよ、その時お母さんはこう考えることにしているよ、といった話は子供にとってとても参考になります。一番身近な、人生の先輩です。ひとり立ちして生きていくことの責任と楽しさを、折に触れて親子で話をさせていただければありがたいです。

<③学習>

学習については、本年度も、授業においてICTを効果的に使いながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実が図れるよう、授業力の向上に努めます。1年間の中で、定期的にテストを実施しますが、子供たちは、点数などの目に見える結果から、落ち込んだり、努力したことと結果が結び付かないことに諦めの気持ちになったりすることがあるかもしれません。結果はそれまでの過程を振り返るためにあるのであって、その人の善し悪しを決めるものではないです。自分を伸ば

そう、向上しようと地道にコツコツ努力できたことが尊いと思います。そこに光が当たるようにしたいと思っています。学習においても、折に触れ、「自分で決める」場面を大切にしています。「自己調整力」という言葉があるのですが、様々な教科で、教わるという場面だけでなく、自分で学びを作っていく場面も作っていきます。

＜④教育活動の特色＞

本校の教育活動の特色として、本年度も地域の方と主には総合的な学習の時間を活用して学ぶ機会を考えております。市川 PTA 会長のところから、昨年度野菜や果物の苗をいただきました。その中にバナナの苗がありました。冬越しが心配で、本校職員の中に、そのバナナの茎にわらを巻いたり、少しでも日の当たる所に出したりして管理してくれました。なんとそのバナナが枯れずに無事に冬越しできたようです。小中連携を一層進め、中学校という局所的な捉えでなく、小中という大局的な捉えの中で子どもの育ちを見ていくための諸活動に取り組みます。また、昨年度戦後80周年を迎え、ニュースなどでも戦争を語る人間が少なくなっていることの危うさを伝えておりました。本年度10月29日(木)に、元NHKアナウンサーの杉浦圭子さんが本校にて被爆体験に関わる家族のお話をしていただく予定です。保護者の皆様だけでなく、ぜひ祖父母の皆様やご近所の方も参加していただき、大勢で話を聴けたらと思っています。広島原爆に関連し、本年度は須坂市に保管されているカンナの球根も以前ほど大々的には有りませんが、学校敷地内で復活できたらと思っています。

＜⑤部活動と地域展開＞

本年度は、部活動と地域展開の両輪で進んでいきます。すでに4月20日(月)のtetoruで市教委より配信されております。部活動は平日のみとなり、土日は市教委が設置する地域クラブがさらに活動したい子供たちの活動をサポートします。その際、地域クラブに加入手続きをしたうえで参加となります。基本的には平日の部活動と土日の地域クラブは同じである事が望ましいとされていますが、違ってても全く構いません。

＜⑥生徒指導・健全育成・子供の安全＞

生徒指導の面で、中学生を取り巻く諸問題について何点かお話しします。

一つはSNSについてです。便利な反面、トラブルや犯罪が深刻です。昨年中学生の闇バイトで逮捕される事件がありましたね。性犯罪や薬物犯罪もどんどん低年齢化しています。SNSのお陰で世界はとても近くなりました。全国ニュースの話は遠いところの話ではありません。身近で起こりうることなのです。そこで、6月19日(金)に東三校健全育成懇談会が開催される予定です。警察署生活安全課の方が、現在実際に小中高生の間で起きていることをお話しくださいます。ぜひ、ご参加いただけると嬉しいです。

また、家庭内における、親の携帯電話の子供の使用についてはいかがでしょうか。親子であっても、子供が親の携帯を使うときに「携帯使っていい?」と必ず使用許可を確認したり、「何の目的で使うよ」といった使用目的を確認したりするなど、親子間でルールがあるでしょうか。今や携帯はその所有者の財布であり、個人のプライベートな情報が満載です。注意が必要です。

学校と各ご家庭の間でも tetoru という専用アプリを利用して出欠の確認を学校と保護者の間でさせていただいております。子供が保護者の知らない間に、親の携帯から欠席の連絡をして学校に

来ていなかった、とい例もあります。

本日のニュースで、高校生同士の自転車事故のことを扱っていました。傘をさしながら自転車を運転していた男子高校生と、カップを着用して自転車を運転していた女子高校生が正面衝突して、その時男子高校生が車道の方へ倒れて、直進してきた軽自動車にひかれ頭蓋骨骨折で重症ということでした。一方で、青切符詐欺で現金をだまし取られるということも全国で起きているということもニュースになっていました。ご家庭でも自転車について、青切符のこともあります。まずは命を守るために安全に自転車に乗ること、そのために守らなければならないルールをご確認ください。

<⑦創立70周年>

いよいよ来年度は創立70周年となります。今年度はPTA役員の方が中心となって、どんなふうにお祝いするか、みんなで考えていくと思います。こんな時間にしたい、こんなことをしたい、などアイデアをいただければありがたいです。

以上、たくさんのごことについてお話ししましたが、昨年度、本校に赴任して感じていることは、保護者の皆様が温かいことと、子育ての上での親として心配していることや気になっていることを学校にも相談していただけて、学校と家庭と協力してその子を見つめていくことができることが学校として本当にありがたいなと思っております。どんな些細なことでも構いません。気になることや不安なことがありましたら、気軽に学校までお問い合わせください。

本年度も宜しく願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

令和8年度PTA活動 スタートしました

令和7年度佐藤 PTA 会長から、令和8年度市川 PTA 会長へと引継ぎが行われ、新しい役員の皆さまと共に今年度の PTA 活動が力強くスタートしました。4月の総会に続き、PTA 講演会、PTA 作業と大きな行事へのご参加、ご協力ありがとうございます。

<PTA 活動にかかわる連絡> *大勢の皆さまのご参加をお待ちしております。

○第2回参観日・東三校健全育成懇談会 6月19日(金)

参観日に引き続き、東三校健全育成懇談会が開催され、須坂警察署山田恵津子さんのご講演があります。是非多くの皆さまにご参加いただき、子どもたちの健やかな育成について一緒に考える機会にいただければ幸いです。

講師 山田 恵津子 様(須坂警察署)
加速するネット犯罪 ~加害者・被害者にならないために~

○第2回PTA作業 9月19日(土) 7:30~ 9:00 順延なし

○平和学習講演会 10月29日(木) 14:00~15:00

元NHKアナウンサー杉浦圭子さんをお招きして、平和学習講演会を開催いたします。ご自身が被爆者二世であることから、家族の被爆体験を語り継ぐ「家族伝承者」として、戦争と平和についてのご講演をしていただきます。是非今からご予約をしていただき、大勢の皆さまのご来校をお待ちしております。

PTA 総会



PTA 作業

